

ことひら

第59号

令和7年8月
発行:香川県琴平町議会

議会だより

6月定例会
臨時会(第2回)



『わたしたちの琴平』

台湾の美術講師 × 地域おこし協力隊 × 町内の有志団体「国際アートサマーキャンプ」



詳しくはコチラ

令和7年度一般会計補正予算5,504万円増額 可決

● 公共用地活用調査業務委託事業

■ 事業費：200万円 **新規計上**

廃校跡地をどのように活用することができるのか、可能性を調査する業務を委託する。

問 事業委託について詳しい説明を。

答 令和6年度の調査報告を踏まえ、さらに地元事業者との意見交換を進める。

● 高付加価値NFT販売プラットフォーム構築事業

■ 事業費：1,610万円 **新規計上**

デジタル技術を活用し、特産品や文化資源を国内外へ発信するためのシステム構築を行う。

問 NFTが琴平町の利益にどう繋がるのか。

答 NFT購入者には、金丸座の入場無料やニンニクの収穫体験等の付加価値を付け、本町へ実際に足を運んで貰えるようにと考えている。

問 NFTは新しい発想のきっかけであり、税収入が減少するなかでなんとか活性化していかなければならないということだと思う。

答 今年度は100万円の収入を見込んでおり、次年度からは1,000万円の収入をめざす。他の町ではデジタル住民票NFTを1枚1,000円で販売したところ、1週間で1,000枚が完売。新しい技術を活用して稼ぐということを先進地ではやっている。

● 福祉避難所体制整備支援事業

■ 事業費：480万円 **新規計上**

社会福祉施設等が、災害時に福祉避難所として円滑に運営する体制を整備するための支援を行う。

問 具体的にはどういったことをするのか？

答 施設改修として、避難スペースの確保やトイレ改修、入浴施設の増設など。資機材の整備として、発電機や介護用ベッド、車イスなど。

● 資源ごみ再生業務委託料

■ 事業費：200万円 **増額補正**

令和7年4月より実施している製品プラスチック収集において危険物や禁忌品の混入するリスクに対応する。

問 どのようなリスクに対応するのか？

答 ハンディ扇風機などに入っているリチウム電池は発火の恐れがあるため、それを業者がベルトコンベアにゴミを流し、従業員が目視で悪いものを取り除く。

問 光る靴やおもちゃは燃えるゴミだと思っていたが。

答 パッカー車の中で発火の可能性がある。



令和7年 第2回（8月）臨時会

8月1日に開催された臨時会において、専決処分1件（一般会計補正予算）を承認し、人事案件2件に同意しました。

専決処分の一般会計補正予算については、令和6年度に実施した定額減税補足給付金の給付額に不足が生じる場合に、その不足分の給付を追加で行うもので、2,439万3千円を計上。全額、国の臨時交付金を充当。

● 専決処分の承認（令和7年度琴平町一般会計補正予算（第2号））

補正前総額	補 正 額	補正後総額
64億4,780万2千円	2,439万3千円	64億7,219万5千円

総務産業経済常任委員会

委員より

役場総合窓口業務の入札価格が上昇している。

総務課

人件費の上昇によるもの。

委員より

ふるさと納税が増えた要因は？

企画防災課

取り扱うポータルサイトを増やし、更に返礼品を増やした。

委員より

プレミアム付商品券が当たらないと聞く。

観光商工課

応募多数の場合は抽選となる。

委員より

歌舞伎の収支見込は？

観光商工課

詳細はまだだが、チケット販売は前回よりも売れている。

委員より

歌舞伎で金丸座まで行くのが大変との声も。二次交通整備が必要だ。

町長

シャトルバスを走らすと利便性は良くなるが、その分経費がかかる。

教育厚生常任委員会

委員より

塵芥収集車(2t)購入の競争入札への参加が1社のみであるが。

住民福祉課

制限付き一般競争入札としてHPで公告しており、その結果1社が参加。

委員より

物価高騰に伴い、お米クーポンを出しているところもあるが。

住民福祉課

今は考えていない。

委員より

中学校の建設当初は、図書室の一般開放はしないとのことだったが。

生涯教育課

校長と相談し、可能と判断。月1回ずつ開放し、好評であれば少しずつ増やしたい。

委員より

中学校の修学旅行で、大阪・関西万博に行く案はなかったのか？

生涯教育課

考えていない。

委員より

いこいの郷公園遊具の使用についての看板は？暑い夏場の使用には注意が必要だ。

生涯教育課

以前までのものは劣化しているので更新する。

公共施設整備調査特別委員会（6月20日・7月1日開催）

「認定こども園の今後の在り方」

「小学校の再編整備」について審議した。

●基本設計について清和設計より説明

小学校校舎3階建、体育館は2階建RC造、こども園は平屋S造（一部2階建）、放課後児童クラブ棟は木造平屋、駐車場は136台。図書館は校舎と体育館棟の間にあり、地域開放を想定。自然光を取り入れた多目的スペースの有効活用が可能。

●財政シミュレーションについて総務課より説明

過疎債を活用。総事業費が物価高騰他で増加するが、それに伴い国からの補助も増加する。統合による管理コスト等の負担軽減も加味すると十分に実施可能であるとの説明。



「庁舎の今後の在り方」

5月23日つるぎ町役場視察・庁舎の状況把握について多田善昭建築設計事務所から説明があり審議した。

平成25年度に実施した庁舎耐震診断では、「改修等の措置を講ずる必要あり」との判定。

今回、予備調査として、内外RC柱・壁クラック、FST工法、タイル内視鏡調査、劣化調査、タイル剥離、コンクリートの中性化試験をして補強案を作成。基本構想を本年度中にしたい。

委員より3階部分の考えを問い、庁舎の3階部分は、会議室や収納を含めて内部空間を広げるためにもカーテンウォール部分はシンボルとして残したいとの回答。

県庁東館と琴平町が耐震補強をして歴史的な建物を使い続けるのは価値のあることとの説明を受けた。



新体制が決まる

令和7年第2回（8月）琴平町議会臨時会において、議長、副議長選挙が行われました。また、常任委員会や特別委員会の構成も新たに決まりました。



副議長
豊嶋 浩三



議長
渡辺 信枝

・議長選挙の結果・

渡辺 信枝 10票

・副議長選挙の結果・

豊嶋 浩三 6票
別所 保志 4票

議長・副議長
就任あいさつ

例年がない暑さが続く中、町民の皆さまにはお健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。

このたび8月臨時会において正・副議長の改選が行われ、私たちが選出されました。誠に光栄であるとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

現在、琴平町では令和11年春の開校をめざし、認定こども園と統合小学校の建設が進められています。一方で、庁舎の耐震化や公共施設の老朽化など、解決すべき課題も山積しております。町議会としても丁寧な審議を重ね、町執行部と連携しながら一歩ずつ着実に前進してまいります。

より開かれた議会をめざし、町民の皆さまの声に耳を傾け、全力で取り組んでまいりますので、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

琴平町議会

議長 渡辺 信枝
副議長 豊嶋 浩三

委員会構成

総務産業経済常任委員会

委員長 堀家 正信
副委員長 吉田 親司
委員 山神 猛
山下 康二
豊嶋 浩三

教育厚生常任委員会

委員長 森藤 泰生
副委員長 別所 保志
委員 眞鍋 籌男
渡辺 信枝
寺岡 伊代

議会運営委員会

議会を円滑に運営するための議会運営上の諸問題について調査研究を行う。

委員長 山神 猛
副委員長 吉田 親司
委員 森藤 泰生
豊嶋 浩三
堀家 正信

公共施設整備調査特別委員会

認定こども園の今後の在り方、小学校の再編整備、庁舎の今後の在り方、ヴィスパことひらの運営管理についての調査研究を行う。

委員長 山下 康二
副委員長 堀家 正信
委員 山神 猛
眞鍋 籌男
森藤 泰生
豊嶋 浩三
吉田 親司
別所 保志
寺岡 伊代

議会広報編集特別委員会

議会広報の編集及び発行に関する調査研究を行う。

委員長 寺岡 伊代
副委員長 眞鍋 籌男
委員 山神 猛
森藤 泰生
吉田 親司
堀家 正信

発言 順序	議 員 名	質 問 事 項	掲 載 ページ
1	もり とう やす お 森 藤 泰 生	① 買い物環境を維持せよ ② 消防本部のさらなる広域化を進めよ ③ 倒木・落枝事故を防げ ④ 孤食対策について 5 小学校における通知表の意義について	P 6
2	ほり け まさ のぶ 堀 家 正 信	① 歌舞伎公演の今後の課題 2 公会堂をはじめとした公共施設の管理・維持 ③ 小中学生の体力テスト、脂質異常と健康寿命の延伸に向けた骨粗しょう症検診 ④ D A O ⑤ ふるさと納税の発展	P 6
3	よし だ しん じ 吉 田 親 司	① 町づくりと街づくりについて	P 7
4	とよ しま こう ぞう 豊 嶋 浩 三	① いこいの郷パートナーズの6年度決算について 2 琴平町新設統合小学校及び統合こども園の基本設計について 3 小学校の義務教育で必須化された英語教育について 4 インクルーシブ教育について 5 K O T O C A について 6 琴平町の発信力について	P 7
5	ま なべ かず お 眞 鍋 籌 男	1 琴平町役場の庁舎改築では心細い 2 職員の会釈について 3 消滅可能性自治体について 4 敬老会の中止について ⑤ 琴平町にあるスーパーについて	P 8
6	てら おか い よ 寺 岡 伊 代	① 「社会に開かれた学校教育創造事業」の採択を受けた本町の教育のあり方 ② 集落支援員制度を活用した地域担当職員の配置 ③ 琴平中学校図書室の一般開放と、町の支援体制と今後の展望	P 8
7	わた なべ のぶ え 渡 辺 信 枝	① 健康寿命の延伸 2 空き家問題 ③ 英語検定補助	P 9

※次ページ以降に掲載されている内容に関する表題を口で囲んで太字にしています。



森藤 泰生 議員

買い物環境を維持せよ

問 理事者側から、地元スーパーが企業統合の中で撤退することが判明したとの発言があった。小学校こども園の統合、役場庁舎の耐震化と、眼前の課題は山積しているが、町民にとって毎日の生活に大きな影響を与えるという意味では、スーパーの撤退がより重要な問題である。

答 厳しい現状であることは認識している。

問 丸亀、善通寺、多度津と話し合っているのか。

答 非公式にはある。

倒木・落枝事故を防げ

答 県内どの市町においても、スーパーは当たり前のように存在している。何としてでも存続していただきたい。先方の意見を伺い、可能な限り協力したい。

問 金刀比羅宮の神事場高灯籠には、琴平町が管理する遊具が設置されており、遊具までの道筋、遊具の真上には大きな枝が張り出している。倒木・落枝事故を防止するため適切な管理と定期的な樹木の健康診断が必要だ。琴平町は金刀比羅宮と話し合いを持たなければならない。

消防本部のさらなる広域化を進めよ

問 人口減少の中、町民

答 町民が立入り可能な場所については、優先的に管理いただけるよう申入れた。

問 昨年12月16日、金刀比羅宮と琴平町は災害時に観光客の避難場所として、神事場、高灯籠を利用することを定めた協定を結んだ。琴平町は、神事場、高灯籠利用の安全性について調査しなければならないのでないか。

答 ご指摘のところまでは協議ができてない。

孤食対策について

問 琴平町は、民間のこども食堂にどのような支援をしているか。

答 直接的な支援はしていない。

問 こども食堂が継続して運営できるよう、どのような支援が必要だと考えるか。

答 詳細な話はまだ聞けてない。

問 何が必要か運営している人の意見をお聞きいただきたい。



堀家 正信 議員

歌舞伎公演の今後の課題

問 高齢者・車いす利用者などに金丸座の急な坂道を登らせるのは「人にやさしい町」と言えるのか。またタクシー問いの合わせの対応は。

答 当初からの課題であり、検討もしてきたが、解消すべき課題も多く対応できていない。しかしながら、観劇者のご不便も認識している中で、周遊バス・専用シャトルバスなど、事業者と協議を行いながら、再度検討していく。

問 リピータのために、後援会組織的なものを考えてはどうか。

答 情報発信の面で改善の余地は認識しているが、「入会によるメリットづくり出し」「委託業者との調整」「財政的負担」「運営体制の複雑さ」などから現時点での実施は困難と考える。

問 案内小屋前、懸案事項である大門までの石段の手すり設置。

答 小屋前の手すりは検討課題とする。大門までの石段の手すりは、現地調査した結果、老朽化する石段の補修が必要、また、幅員の確保、対面する店舗・住居間の行き来の支障など、難しい問題であるとの認識である。

問 イヤホンガイドの導入は。

答 観光名所の魅力向上と国際的な観光客の対応は重要な課題と認識。問い合わせも多いことから、関係者とも協議をする。

小中学生の体力テスト、脂質異常と健康寿命の延伸に向けた骨粗しょう症検診

問 琴平町の学生の体力・運動能力を問う。

答 3小学校ともに県平均超え。男子では、50m走、立ち幅跳び。女子では、上体起こし、20mシャトルラン、50m走が県平均を大きく超え、*Lowland* 体力番付では琴平小学校が、84校中3位と好成績を上げており、各校、工夫をして指導している。

DAO

問 説明とメリットを問う。

答 分散型自立組織であり、インターネット上で透明性を保って、平等に意見を出し合い、合意形成を行うのが特徴。地域おこし協力隊が取り組むDAOは「住民みんなで話し合って、みんなで決める」。琴平町の豊かな歴史と文化を大切にしながら、新しい技術を取り入れてより良いまちづくりを進めていく。

ふるさと納税の発展

問 大幅な伸びを見せたふるさと納税の今後の展開を問う。

答 昨年は目標額1億円超え、宿泊・旅行で前年比420%の約5千万円、歌舞伎チケットで740万円など。今後の展開として、体験型返礼品の発掘、低価格返礼品の作成、定期便など商品のラインアップの充実など、町の魅力を広く発信していく。



吉田 親司 議員

町づくりと街づくりについて

問 道路行政について、ここ何十年にわたって町に新しい道路が確保されていない、これも人口が増えない原因の一つだと考えるがどう思うか。

答 道路行政が人口減少に与える影響については、道路網または公共交通機関の衰退は、買い物、通院、通学、通勤などの日常生活における利便性を大きく低下させ、住民の流出を招く可能性があることは指摘の通りかと認識している。道路網を利便性を持ったものにしていくには、地元住民の理解と協力が必要であり、ある程度まとまった範囲で計画的に住宅、空き家を含み、整理したうえで、道幅が確保できれば道路整備をしていく事業を、国などの補助金を活用し

ての計画を検討すべきであると考えている。

問 地元で1つしかないスーパーマーケット、撤退の可能性があるようだが、そのことについてどう考えているのか。

答 あくまでも民間企業のことである。企業としての経営方針があることから、町が介入することはなかなか難しい。もし本当にそのような事態になつてしまえば、町全体が衰退していくことは容易に想像できることである。県内どの市町においてもスーパーマーケットは当たり前存在しているし、町としても、何としても存続していただきたいという願いもあることから、先方の意見を伺いながら、可能な限り協力していくべきであると考えている。

問 観光での交流人口を増やすには、まちづくり、インフラの整備が必要。琴平町の観光エリアは過去何十年にわたり内町筋より西が観光エリアと認識されてきた。コロナ禍後の今、インバウンド全盛、明らかに交流人口が増えているにもかかわらず、その辺りの議論も起

きていないと思う。もつと東、すなわちJR琴平駅を核とした駅より西側の観光開発が必要であると考えているが、どのように思われるか。

答 金倉川より東エリア、またご指摘のJR琴平駅周辺の観光客が少ないというのは、従前からの課題であると認識している。JR琴平駅周辺の開発については、財政が厳しい状況でそこまで検討は出来ていないが、駅周辺の開発、在り方については十分考えていかなければという認識はある。

問 観光財源の確保として、香川県や、小豆島土庄町などが新しい財源として宿泊税を検討しているようだが、そのことについての町長の考えは

答 現在宿泊事業者の団体より宿泊税に関する要望書を受理している。今後も魅力的な観光地として持続的に発展していくうえで安定的な財源を確保することは重要であると考えている。今後近隣自治体の状況も踏まえながらその内容については前向きに考えていかなければならないという認識。

いこいの郷パートナーズの6年度決算について

万895円でありました。これから毎年2千万円の委託料を支払う協定に於いて、令和6年度は1千886万9、105円が琴平町の基金から減少したと言う事です。

問 町民の皆さんが「どうして？」と思われる様な、これから5年間に毎年2千万円の委託料を5年間で1億円も支払う事を、片岡町長が「なぜ？」決められたのか。

答 以前にも説明したが、令和6年の指定管理者策定にあたって、以前と同条件では応募者がいないのではないかと鑑みて、この様な協定を締結した。

問 委託料として2千万円が毎年町の財源から使われてゆく訳です。この厳しい状況の中で、指定管理制度の欠点と言われる様な「民間企業の利益優先による利用者ニーズの軽視」「公共性の観点

答 毎月指定管理者との定例会において、収入面での会員数の現状維持に努めて頂く事と、支出に於いてサービスを低下させず経費節減に努力して頂くことを考えている。

問 5年間で1億円の委託料を支払う状況の中で、営業収益の増加につながる意見は出しているのか。

答 現状に於いて施設の老朽化対策として、長寿命化を計画的に行っております。その為の費用として基金だけを考えるのではなく国からの応援も考えながら進めて行きたい。

答 現状に於いて施設の老朽化対策として、長寿命化を計画的に行っております。その為の費用として基金だけを考えるのではなく国からの応援も考えながら進めて行きたい。



豊嶋 浩三 議員



眞鍋 籌男 議員

琴平町にあるスーパーについて

問 琴平町にあるスーパーマーケットが撤退しない為に、町や議会はどのようにすればいいのか。私は思うのだが、町長や議会がフジやイオンへ行き、琴平町の住民がスーパーがないと日々の生活が困ることを先方に伝えるといいと思う。

今、撤退したら琴平町も衰退してしまう。

ここ最近、善通寺市、誠学園の横にハローズ、まんのう町公文にマルナ

力、岡田にハローズ、これらは新しくここ2年以内にできた。琴平町のスーパーとは違い、駐車場から店へも入りやすく店内も明るい。

町長は先方と早く連絡を取って下さい。

答 町内にあるスーパー

マーケットの問題についてだが、この問題についてはあくまで民間企業としての経営方針等があることから本町が介入することはなかなか難しい。

もし現実にもそのような事態になってしまえば町自体が衰退していくことは容易に想像できる。町に何としても存続



していただきたいという願いもあり、先方の意見を伺いながら可能な限り協力していくべきと考えている。

現在、事業者側と面談すべく連絡を取っていて、日程等の調整がつけば早急に訪問するつもりだ。

「社会に開かれた学校教育創造事業」の採択を受けた本町の教育のあり方



寺岡 伊代 議員

問 町内3小学校児童を対象に、県教育委員会が実施主体となり、確かな学力向上を目指す事業が開始された。実施場所である琴平中学校への児童たちの移動手段は、琴平小学校と象郷小学校の児童について、自転車は可能か。

答 保護者の許可があれば、自転車の利用は検討可能。

問 先進的な学びの成果をいかに検証し教育政策に反映していくのか。学力の変化に加えて、学習意欲、主体性、学ぶ環境への満足度など、数値だけに頼らない質的な指標をどのように導入していくのか。

答 評価は、子どもへのアンケートや感想、授業者、参加者の感じたことで改善・改良に努めながら、実効性を捉えていきたい。



集落支援員制度を活用した地域担当職員の配置

問 総務省が推進している集落支援員制度を活用して、町内の地区ごとに「地域担当職員」を配置することを提案する。この制度は、地域の巡回、住民の見守り、住民の声をとりまとめ、関係機関との調整などを行う。町民を任用することが可能か。

答 集落支援員制度の導入により、課題解決について対応できる可能性がある。財政措置は、専任では上限500万円、自治会長さん等が兼任する集落支援員の場合、年間40万円上限の特別交付税

措置がある。自治会の在り方が本心に厳しい状況で、この制度を導入することで活路が見いだせるかなと思うので、研究・検討を進めていきたい。

琴平中学校図書室の一般開放と、町の支援体制と今後の展望

問 今年度より、町立琴平中学校において、月に1回、原則として第1土曜日の10時から15時まで図書室を開放する取組が始まった。今後の方針は。

答 ゆくゆくは月の開催回数を増やしたり、時間を延長したりすることも考えられる。

問 多世代に向けての書籍を購入する場合、学校図書費とは別に予算をつけることも可能か。

答 現段階では、あくまでも琴平中学校の生徒及び教員のための図書館であることから、別に予算をつける予定はないが、図書購入予算を20万円から60万円と増額している。



渡辺 信枝 議員

問 健康診断受診率と受診率向上のための施策は？

答 健康管理や病気予防の施策として、医師による講話や国民健康保険の特定健診、さらに、人間ドックには補助金として1万5千円。早期発見の観点では、がん検診や肝炎ウイルス検診などの各種検診が行われている。また今年度から骨粗しょう症の検診もスタートした。

健康寿命の延伸

問 香川県では、「人生100年時代を幸せに生き生きと全うするには健康寿命を延ばすことが大事だ」と力を入れている。琴平町で今年度力を入れている取り組みは？

答 6年度の、国保の特定健診受診率は約45%。受診率向上の施策は、特定健診対象者の医療機関への受診状況や過去に送った案内から性格診断をし、タイプごとに分けて案内の工夫をしている。その他、健康相談をされた方へコトカポイントの付与、町広報紙での啓発、そして、本町は特定健診の個人負担金を無料としている。



英語検定補助

問 小学校で英語授業が始まり4～5年が経つ。

小学校3、4年生では週1回程度、5、6年生では週2回程度、英語の授業が設けられ、成績も通知表に記載される。こうした流れから、小学校5、6年生で英語検定に挑戦したいという子どもが年々増えている。琴平町では中学生への英語検定受験

費用の補助はあるが、小学生で受験希望のある子どもたちにも補助制度を広げてもらえないか。

答 琴平町ではA・L・Tの数を、これまで小中学校に1人だったが、昨年より1人増員し、中学校1人、小学校1人とし、中学生の英語検定受験の補助の回数を無制限にするなど英語学習に力を入れている。近隣の市では幼稚園児が英語検定二級に合格するなど、小さい頃から英語学習を始める方がより効果があると思う。小学生への英語検定への補助については、小学校の状況を聞き取りながら実現させていきたい。

問 やる気のある子供たちを応援するためにも、ぜひ早急に具体的な制度設計をお願いしたい。



人事案件

琴平町監査委員（識見を有する者）の選任に同意

氏 家 廣 幸 氏

（琴平町下櫛梨） 新任 77歳

任期：令和7年7月1日～令和11年6月30日

琴平町監査委員（議会選出）の選任に同意

吉 田 親 司 議員

（琴平町） 新任 67歳

任期：令和7年8月1日～令和9年7月31日

琴平町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

白 川 万里子 氏

（琴平町） 新任 67歳

任期：令和7年9月24日～令和10年9月23日

議案の審議結果 令和7年6月定例会

議案番号	議 案 名	賛成	反対	採決結果
1	令和7年度琴平町一般会計補正予算（第1号）	7	2	可
2	琴平町監査委員（識見を有する者）の選任について	9	0	同
発議1	議員派遣の件	9	0	可

※ 可…可決 同…同意

議案の審議結果 令和7年第2回(8月)臨時会

議案番号	議 案 名	賛成	反対	採決結果
1	専決処分の承認について（令和7年度琴平町一般会計補正予算（第2号））	9	0	承
2	琴平町固定資産評価審査委員会委員の選任について	9	0	同
3	琴平町監査委員（議会選出）の選任について	9	0	同

※ 承…承認 同…同意

採決表

令和7年9月定例会日程(予定)

月	日	曜日	会 議
9	5	金	本会議(提案理由説明等) 9:30～
	6	土	
	7	日	
	8	月	本会議(一般質問) 9:30～
	9	火	本会議(一般質問) 9:30～
	10	水	総務産業経済常任委員会(議案審査) 9:30～
	11	木	教育厚生常任委員会(議案審査) 9:30～
	12	金	決算審査特別委員会(議案審査) 9:30～
	13	土	
	14	日	
	15	月	(敬老の日)
	16	火	決算審査特別委員会(議案審査) 9:30～
	17	水	決算審査特別委員会(議案審査) 9:30～
	18	木	(休会)
	19	金	(休会)
	20	土	
	21	日	
	22	月	本会議(委員長報告、採決等) 9:30～

会議録もご覧ください

議会だよりでは、紙面の都合により内容を要約してお伝えしています。質疑・答弁の詳細は、会議録に詳しく掲載されていますので、ぜひご覧ください。会議録は町ホームページ内、議会欄、会議録検索システムでご覧になれます。

琴平町議会

検索



国への陳情

(令和7年6月24日訪問)

総務省

1. 緊急防災・減災事業債の期間延長及び一層の強化について

- ①「緊急防災・減災事業債」の事業期間が令和7年度までとなっていることから、事業期間の延長を求める。
- ②現在起債対象外となっている津波浸水区域内にない当町庁舎の建て替えについても活用できるよう対象事業交付要件の見直しを図るとともに、財政措置の一層の充実・強化を図ること。

2. 公共施設等適正管理推進事業債の期間延長及び一層の強化について

当町は現在、統合小学校・こども園建設後、既存校舎・園舎を取り壊す必要があり、公共施設の集約化・複合化等に伴う除却についても、極めて重要な財源である「公共施設等適正管理推進事業債」の活用が不可欠である。本事業債の令和8年度までの時限措置について、令和9年度以降も継続されるよう強く要望する。

デジタル庁

1. 自治体システム標準化について

国が進める標準化への移行経費は全額国庫補助となっているが、標準化移行後のランニングコストについても十分な財政支援を行うこと。

農林水産省

1. 農業振興施策について

- ①農業の持続的発展を見据え、若年層の農業者確保及び農業者が安定して経営に取り組めるような対策を実施すること。
- ②昨今の米価の高騰と需給調整について、生産現場の実態を踏まえた責任ある対応を行うとともに、安定した価格で消費者へ十分な量を提供できる体制を整えること。
- ③水田活用の直接支払交付金について、恒久的な制度として予算の確保や麦などの交付単価の維持に必要な対策を講じること。

編集後記

残暑の候、暑さは続いておりますが、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、議会広報編集特別委員会の委員長を拝命いたしました。この二年間、右も左も分らない議会の中で、多くのことを学ばせていただきました。議会だより然り、琴平町に様々な変化があったこと、皆さまでに届いておりますでしょうか。どのようなことが議論されているのか、より分かりやすく、さらに伝わる議会だよりの編集を心がけてまいります。全国では、最高気温が41度超えの酷暑を経験し、初めに申しました「残暑の候」と言うには、暑すぎる8月の末。盛夏の疲れを感じやすい時期です。どうぞご自愛くださいませ。

(寺岡伊代)



発行責任者

議長 渡辺 信枝

議会広報編集特別委員会

委員長 寺岡 伊代
副委員長 眞鍋 篤男

山神 篤男
森藤 泰生
吉田 親司
堀家 正信

詳しくは議会事務局(☎75-6713)までお問い合わせください。

E-mail: gikaijimukyoku@town.kotohira.lg.jp